

年 中





秋らしい風が吹くようになり、子ども達はブランコに乗って 気持ちよさそうに風を仰いでいます。「雲の中にいるみた~い!」 「飛んでるー!」と、とびっきりの笑顔です。

また、時折トンボも見かけるようになりました。ブランコがトンボと同じ目線になると「お~い!とんぼさーん!」「とんぼになりたーーい!」という可愛らしい声も聞こえてきます。



また、戸外へ出るとすぐに「**氷鬼やる人 この足と~まれ!**」と元気な声が聞こえてきて、あっという間にお友達の輪ができます。





皆の足を1本ずつ出して合わせると、「鬼決め 鬼決め 誰が鬼じゃないかな♪」と順番に指をさして鬼を決めます。 最初は"鬼は白帽子にする""タッチされたら凍る"というルールだけでしたが、遊んでいくうちに「バリアはあり?」 「守るのはあり?」とルールを増やしたり、考えたりするようになりました。

その都度話し合う中で、"自分はこうしたいけれど、嫌なお友達もいる"という気付きもありました。

そして、鬼になることが好きなお友達もいれば、なりたくないお友達もいることにも気が付きました。 すると子ども達同士で「長い針が6になったら鬼交換しよう!」という提案が出てきました。 自分達で時計を確認して、「もう6になったよー!交換だよー!」という声が聞こえてきます皆で約束 を守ろうとする姿に成長を感じました。

秋空の下で、太陽の日差しと風を受けながら仲良く遊んでいます。



